

尚綱大学 尚綱大学短期大学部
オープンキャンパス
7/20(日)・7/21(祝)・8/2(土)・11/23(日)



楡木キャンパス ●文化言語学部 文化言語学科 ●幼児教育学科
九品寺キャンパス ●生活科学部 栄養科学科 ●総合生活学科 ●食物栄養学科

申込不要 受付開始/9:30～ 学園祭と同時開催
内容:学部・学科説明、学科・コース体験キャンパスツアー、模擬授業、個別相談など

尚綱中学校 尚綱高等学校
オープンスクール
7/13(日)・8/9(土)・9/6(土) 10:00～



内容:学校紹介、授業体験、部活動体験・見学など

※詳細についてのお問い合わせ先 尚綱大学・尚綱大学短期大学部 入試センター TEL.096-273-6300 詳しくはWEBで!
尚綱高等学校/尚綱中学校 TEL.096-366-0295 尚綱学園 検索

尚綱大学 尚綱大学短期大学部
尚綱公開講座

メインテーマ 人間探求 ～未来への学びを～

- 開講の場所/九品寺キャンパス大学1号館 10階ホール
- 受講者/男女、年齢に関係なく、受講できます。
- 受講料/受講する講座数に関係なく、資料代実費として2,000円をご負担いただけます。

開講日	I (9:30～11:00)	II (11:10～12:40)
9月1日(月)	「人生90年代」の到来を迎えて～高齢者の雇用・くらし・生きがい～ 尚綱大学短期大学部総合生活学科准教授 川崎孝明	ドイツの教育・日本の教育 ～「道徳教育」を考える～ 尚綱大学短期大学部部長 教授 佐澤安廣
9月2日(火)	アートを楽しむ～美術館という視点から～ 尚綱大学短期大学部幼児教育学科講師 坂本健	アニメーション映画の歴史 尚綱大学文化言語学部准教授 畠山真一
9月3日(水)	インテリアと室礼 ～豊に座り、イスに寝る日本人～ 尚綱大学短期大学部総合生活学科准教授 佐藤圭一	図書館のあり方を考える 尚綱大学文化言語学部准教授 桑原芳哉
9月4日(木)	わが国のエネルギーの未来を考える 尚綱大学文化言語学部教授 石原修	薬を作る、薬を使う 尚綱大学客員教授(熊本大学薬学部 教授) 大塚雅巳
9月5日(金)	病気と栄養～家庭でできる治療食～ 尚綱大学生活科学部准教授 渡邊和美	人体の神秘～血液～からだをまもる細胞や分子たち～ 尚綱大学短期大学部食物栄養学科教授 梅田八壽子

※閉講式後に「受講者と講師の懇談会(茶話会)」を開催します。

■受講申し込み はがきに ①郵便番号 ②住所 ③氏名(フリガナ) ④年齢と性別 ⑤電話番号 ⑥受講希望講座名 ⑦前回受講の有無 ⑧懇談会の出・欠を書いて、8月25日(月)までにお申し込みください。なお、当学園webページ又はE-mailでもお申し込みできます。
(お申し込み先) 尚綱学園内 尚綱公開講座係 〒862-8678 熊本市中央区九品寺2丁目6-78 TEL.096-362-2011
webページ <http://www.shokei-gakuen.ac.jp/> E-mail kokai@shokei-gakuen.ac.jp

後 塞

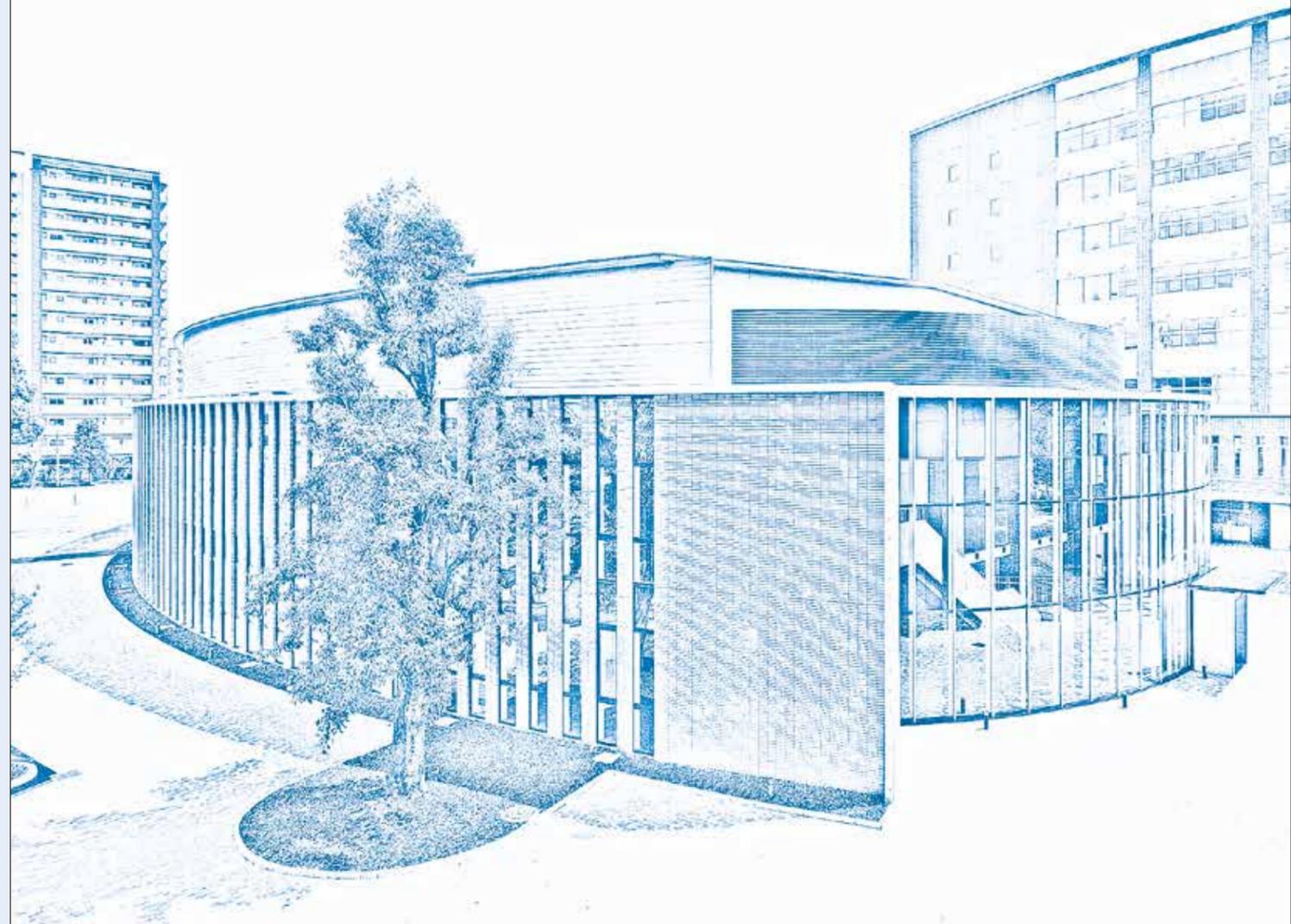
紫陽花や 白よりいでし 浅みどり
ある華道家の随筆だったと記憶するのですが「紫陽花と書かれる所以が原産地中国の白楽天の詩から取ったものと耳にし、青紫の寒色に太陽の栄冠をさずけた東洋の知恵にハッとさせられた。」というようなことを読んだことがあります。
庭の隅のあじさいがブルーに染まり始めると私はグラスに浮かべてその涼しさを楽しみます。
緑の葉影に花をつける驕らない風情は山野に求めるよりほかにないのかも知れませんが、群れて咲く紫陽花に濡れた美を求めてある雨の古刹の苔むした石段に立ってみたいとの思いをグラスの水の中花に託すのです。 H.K

○皆様のご意見・ご感想をお寄せください。 編集・発行/尚綱学園 編集スタッフ/黒瀬英夫、水政行弘、長谷川新吾、古澤千鶴、木村悠、村上直
〒862-8678 熊本市中央区九品寺2丁目6-78 TEL.096-364-0116 FAX.096-363-6520 メールアドレス koho@shokei-gakuen.ac.jp



尚綱大学 尚綱大学短期大学部
尚綱高等学校 尚綱中学校 (中高一貫)
尚綱大学短期大学部附属幼稚園

熊本市中央区九品寺2-6-78 TEL.096-364-0116 尚綱学園 検索



vol.20 CONTENTS

特集「昭憲皇太后百年祭」など P1-P3
イベントレポート、新任教職員紹介 P4
寄附者芳名録 P5
平成25年度決算の概要と事業報告 P6-P8
平成26年度事業計画 P9
インフォメーション P10-P11



明治神宮で昭憲皇太后百年祭が行われました。

平成26年4月11日(金) 明治天皇の後、昭憲皇太后が崩御(お亡くなりになること)されて満百年を迎え、明治神宮では御祭神の御遺徳を仰ぎ、夜間特別参拝や記念展示会の開催をはじめさまざまな記念行事が行われました。昭憲皇太后の御事績にかかわる展示品が関係各所より借用され、本学園が所有する御歌の掛軸についても出品依頼がありました。

昭憲皇太后百年祭記念展

「明治の皇后 ～明治天皇と歩まれた昭憲皇太后～」
明治神宮文化館・宝物展示室にて
平成26年3月29日(土)～5月28日(水)まで展示されました。

昭憲皇太后御下賜御歌

若狭 萬次郎 作曲
滝本 泰三 編曲



楽譜

〈昭憲皇太后と本学園との関わり〉

昭憲皇太后は、早くから女子教育の重要性に着目し、積極的に支援されました。明治22年5月6日、当時生徒奨励の思召しをもって、東京女子師範学校(現、お茶の水女子大学)、華族女学校(現、学習院女子中等科・高等科)に次いで尚綱学園に御歌を御下賜されました。今も皇太后の御歌の理念が深く学校の教育に浸透しています。



出品／掛軸「昭憲皇太后御歌」(千種任子浄書)
現在、中高校2号館ロビーホール(尚綱コレクションゾーン)にて展示

和装礼法部高校3年永田さん 全日本きもの装いコンテスト世界大会で「装いの女王」に輝く。

平成26年4月6日(日)東京NHKホールにて、2014年日本の心と美の祭典 全日本きもの装いコンテスト世界大会(全日本きものコンサルタント協会主催)が行われました。高校3年生永田聖華さん(和装礼法部)が振袖の部として出場し、1165名の中から高校生初全部門でトップの「装いの女王」に輝きました。

1次審査では鏡を見ずに5分半で振袖を着装し、2次審査ではスピーチの審査が行われ、高校生とは思われない堂々とした立ち振る舞いでした。翌日7日(月)に、装いの女王として安倍首相に表敬訪問を行い、安倍首相は「きものはクールジャパンそのものだ。和装のすばらしさを世界に発信していただきたい。」とエールをいただき、多くのメディアに取り上げられました。



安倍首相と永田聖華さん(後列左)
写真提供:共同通信社



高校生がアイデア “米粉レシピ”で商品化を目指す

くまもと米粉甲子園にて重光産業賞受賞

熊本県の米粉の普及を目的とした「くまもと米粉甲子園(平成25年9月)」に応募し、県内の高校17校から239作品の応募の中、米粉麺部門において3作品、パン・スイーツ部門に1作品が予選を通過。後日決勝戦が行われ、各協賛企業10名の審査委員の前で調理とプレゼンテーションを行いました。結果は、3作品がグッドレシピ賞を受賞し、当時高校3年生松野眞希さん(現 短期大学部総合生活学科1年在籍)が考案した、『米粉麺太平燕』が重光産業賞を受賞し、味千ラーメンでの販売が決定。平成26年1月県庁にて商品化の発表会が行われました。『米粉麺太平燕』は、県内7店舗、県外5店舗にて販売され大変好評でした。



生活科学部とメルパルク熊本 共同で朝食メニュープロジェクト

尚綱大学生生活科学部栄養科学科の学生がメルパルク熊本の朝食メニューを開発しました。生活科学部の田中眞知子教授と研究室の学生6名が、熊本県産の食材を生かし、不足しがちなカルシウム、鉄分などを補強できる温野菜、豆や海藻類などを使った煮物などを考案しました。出張で宿泊する40代男性をモデルに必要な栄養やカロリーを計算し、ピュッフェ形式のため、栄養バランスに配慮した組み合わせによるメニューも第三弾にわたって提案しています。

プロジェクト提案メニュー	
第一弾	大切なお仕事前にしっかり朝食
第二弾	大切な営業前にながら朝食
第三弾	二日酔いの朝にやさしい朝食

「大切なお仕事前にしっかり朝食」



- 豆腐とわかめの味噌汁
- 金平牛蒡
- 豆ひじき
- 一口おかずの盛り合わせ
- ご飯・煎茶
- フレッシュサラダ
- ヨーグルトとフルーツ

(593kcal)

尚絅食育研究センター

設立の第一弾 環境活動の一環として取り組みました。

お米を食べて 天然地下水を育む

熊本パールライスとの連携企画として、世界に誇るくまもとの水を育むお米“水の恵み”を使った新商品作りにチャレンジしました。

平成26年5月10日(土)、11日(日)の2日間、熊本市動植物園エリアで開催されたイベント「わくわく江津湖フェスタ TKUの日」で、生活科学部栄養学科、短期大学部食物栄養学科の学生が「お米を食べて天然地下水を育む」をテーマに、熊本パールライス株式会社と連携し、世界に誇る熊本の水を育むお米“水の恵み”を使った新商品作りにチャレンジしました。水環境教育の一環として、地下水かん養効果がある土地のお米を食べることで、農業を守り地下水を守るウォーターオフセットについて考え、その米を使用したメニューの企画と提供を行い、食育の一つとして本学尚絅食育研究センターを中心に取り組んだものです。また、ウォーターオフセットに普段から取り組んでいる短期大学部総合生活学科の学生も販売当日は一緒に参加しました。



尚絅大学
尚絅大学短期大学部

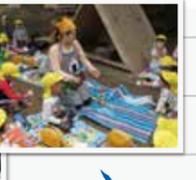
&
熊本パールライス
株式会社

活動の記録

生活科学部の
試作風景

食物栄養学科
商品考案中

長蛇の列!!



附属幼稚園への「おにぎり」配付と
ミニ食育も行いました!

何度も試作を繰り返し、野菜やサツマイモなどが入った
ワクワク野菜ごはん3種類と太平蒸ご飯を作成!

4種ごはんの詰め合わせは来場者の間で
大変好評で、販売早々に全て完売しました!

尚絅子育て研究センター



昨年のシンポジウムの様子



ことば: 谷川俊太郎
写真: 小西貴士(子どものともみ 福音館書店)

尚絅子育て研究センターでは、毎年、夏に公開シンポジウムを開催しております。昨年は、保育者かつ写真家として著名な小西貴士さんをお迎えし、スライドショー「子どもと森へ出かけてみれば」を実施しました。自分のピントは本当の子ども姿をとらえているのか、私たちは子どもの願いに応える暮らしをしているのか、参加者の一人ひとりが自分の生き方を振りかえる貴重な機会に恵まれました。今年も、8月10日(日)に保育のなかにある希望をさがすシンポジウムを企画しております。

公開シンポジウム 「おとなも子どもも心底笑える保育にむけて」

講師 高橋 光幸
東京都墨田区
公立保育園保育士



講師 平松 知子
けやきの木保育園
園長



日時/平成26年8月10日(日) 9:30~12:00
会場/尚絅大学楡木キャンパス管理棟5階

尚絅ボランティア支援センター



平成26年4月に開設した尚絅ボランティア支援センターは、学生の自主的なボランティア活動を支援するとともに、学生主体の地域貢献プログラムを策定、実践していくことを目的としています。今後は、県内のさまざまな機関(行政、NPO、ボランティア団体等)と連携し、本学のさらなる活性化を目指した取り組みを行っていく予定です。皆様からのボランティアの依頼も受け付けております。詳しくは本学ホームページをご覧ください。

【今後の主催事業のお知らせ】

- (1)熊本市障がい者サポーター講座
- (2)熊本県認知症サポーター養成講座

両キャンパスで
秋に実施予定

尚絅大学 尚絅大学短期大学部

学生支援講座が開催されました。

新入生を対象に「自己防衛と防犯対策について」「身近な人からの暴力～セクシャルハラスメントとデートDV～」 「身近な消費者トラブルを考えよう」「女性と健康」「薬物乱用防止」について専門の先生をお招きし、講座を実施しました。受講した学生達は、自分たちには関係のない話ではなく、私たち自身が加害者にも被害者にもなるかもしれないことを学びました。



書道パフォーマンスを披露しました。〈曲水の宴〉

平成26年5月4日(日)熊本市北区龍田町にある代継宮で開かれた“曲水の宴”で文化言語学部文化言語学科書道コースの3年生2名が書道パフォーマンスを披露しました。平安時代の宮中行事を今に再現するもので、曲水の小川に盃を浮かべて十二単の歌人らが歌題にあわせて歌を詠む、大変雅な催しです。今年の課題の「蛭」、「柳」を大きな筆で書き上げました。



尚絅高等学校

クラス全員1年間無欠席

一昨年度の旧3年3組幼児教育クラスに引き続き、平成25年度は3年幼児教育クラスと1年特進クラスの2クラスが全員1年間無欠席を達成しました。1年間、全員が無欠席に至るまでは、毎日登校するのに不安になる生徒もいたり、体調管理を徹底して行ったりなど様々な苦勞があったようです。1学期を乗り越え2学期になったとき、さらにクラスの団結力が加わり、お互いが支えあって達成されました。TKUにも2年連続取材を受け放映されました。今後も続いて欲しい嬉しい出来事です。



尚絅中学校

シンガポール修学旅行に行ってきました。

平成26年3月4日(火)から8日(土)にかけて、中高一貫3年生がシンガポール修学旅行に行ってきました。海外は初めてという生徒が多く、みんな事前学習からドキドキでしたが、3泊5泊の旅中は大きなケガや病気もなく、それぞれに充実した時間を過ごすことができました。修学旅行を経験した生徒たちは英語学習への興味が一層高まりました。また、今年度から高校生の修学旅行の1コースとしてもシンガポールが加わり、中学校で今後さらに国際交流等の発展が期待されます。



尚絅大学短期大学部附属幼稚園

熊本城遠足に行ってきました。(年長組)

平成26年5月27日(火)に年長組は熊本城に遠足に行きました。石垣を眺めながら、大きな階段を張り切って歩きました。西大手門の大きな扉に驚き、天守閣を見上げて観光客に「やっほー」「ここだよ」と手を振ったり、塀の壁に設けられている狭間を覗きながら「おーい」と叫んだりしました。「400年前にお殿様が住んでいたんだって・・・」「忍者もいたよ」大昔の歴史に触れ想像をめぐらせた子ども達でした。



新任教職員紹介

- 尚絅大学文化言語学部/文化言語学科
山中 守(教授) 所 吉彦(教授) 小沢 日美子(教授)
- 尚絅大学生活科学部/栄養学科
守田 真里子(准教授) 川野 美智代(准教授)
當房 浩一(助手) 田中 康介(助手)
- 尚絅大学短期大学部/総合生活学科
河村 諒(助教)
- 尚絅大学短期大学部/食物栄養学科
磯野 有里恵(助手)

- 尚絅大学短期大学部/幼児教育学科
曾田 裕司(准教授) 金澤 香代子(准教授)
森 みゆき(講師)
- 尚絅大学短期大学部附属幼稚園
佐藤 栄子(教諭)
- 尚絅高等学校
川崎 祐太(講師) 藤田 真実(講師)
- 尚絅中学校
永畑 清(講師)

- 尚絅大学/楡木キャンパス
秋好 美佳(職員) 中野 友美(職員)
- 尚絅大学/九品寺キャンパス
山本 愛子(職員) 岡村 成紗(職員)
- 尚絅中学高等学校
木村 茂樹(事務長)
- 尚絅中学高等学校
森田 早紀(職員)

【125周年記念育英奨学寄附金】の報告とお願い

本学園の育英奨学金制度の充実を図るため、寄附金募集活動を平成25年5月より行っています。皆様より、ご寄附いただいた寄附金は、現行の制度に加え、更に新設及び改正を行い、経済的理由により修学に困難がありつつも、優れた学生・生徒に対して、これを奨励・支援していくための育英奨学資金として主に活用されます。

ここに、平成25年10月から平成26年5月末までの寄附の応募状況及び、寄附者ご芳名を掲載させていただきます。多方面のたくさんの方々からご寄附いただきましたことを、心より厚くお礼申し上げます。今後とも、より多くの皆様のご協力ご支援を賜り、学生・生徒のための育英奨学資金の充実を図りたく、よろしくお願い申し上げます。

寄附者芳名録					平成25年10月～平成26年5月末現在			
寄附金内訳								
在籍生園児保護者	卒業生	個人・法人・企業等	現旧役員・教職員	合計				
2件/¥305,000	240件/¥2,422,000	14件/¥18,330,000	16件/¥800,000	272件/¥21,857,000				
在校生園児保護者・卒業生・現旧役員教職員					(順不同)			
山川 文美恵様	古田 雅名子様	高野 いく子様	山本 ナツヨ様	沖田 妙子様	井岡 美代子様	菅長 多美子様	寺尾 千博様	城 智 枝様
林田 光子様	谷口 貞子様	梅守 紀子様	村山 佳代様	牧 蓉子様	奥田 久美子様	吉田 典子様	西原 真弓様	松本 綾子様
沖 淳 子様	岩下 美代子様	下田 順子様	噴田 文子様	丸山 美知子様	佐々木乃りこ様	大島 純子様	梅崎 勝子様	立石 精子様
亀尾 美智子様	藤田 和代様	小田 立子様	荒木 清子様	有働 聡美様	花元 直子様	伊東 和子様	田辺 順子様	荒木 トヨカ様
中野 喜重子様	藤川 みゆき様	児島 節子様	田多 征代様	多久 成子様	續 千恵子様	赤澤 千鶴子様	篠田 米子様	山田 晶代様
甲斐 真利子様	永末 昭子様	甲斐 安子様	渡邊 比津留様	大富 篤子様	横山 律子様	藤本 幸様	武村 理恵様	城 間 緑様
藤田 孝子様	糸田 伸子様	白木 久美子様	浦部 智子様	稲田 京子様	沼垣 邦子様	山本 とみ子様	満永 光子様	土屋 慶子様
高塚 ゆかり様	藤木 恵子様	増住 和加子様	緒方 繁子様	柿原 禮子様	米本 みどり様	富田 鈴子様	岩越 たけ子様	甲斐 英子様
小谷 志津子様	光 永 勝子様	石原 トミコ様	中村 君子様	緒方 千之様	木村 祐子様	東 純子様	水谷 リツ子様	鶴 妙 子様
牛嶋 ゆみ子様	田中 絹枝様	満井 則子様	高倉 喜代乃様	大塚 喜代子様	田代 久子様	佐藤 信子様	小林 友恵様	坂本 卓慧様
徳永 幸子様	篠塚 逸子様	長崎 良子様	清田 桂子様	城 京子様	曾我 美津留様	池田 妙子様	高永 く子様	清田 榮子様
今村 美和子様	河上 妙子様	大谷 春美様	岡本 浩子様	島村 悦子様	越猪 順子様	根本 なつめ様	葛見 伸子様	徳永 征子様
池部 澄子様	東 カイ子様	益 永 篤様	正木 恒子様	高野 文様	小畑 京子様	草村 瞭様	梅村 香代子様	矢野 孝子様
出田 由紀子様	村上 満智子様	安河内 借様	坂井 やす子様	池田 愛子様	布田 浩子様	伊藤 照子様	児玉 奈々様	松尾 千鶴子様
小宮山久美子様	古荘 尚美様	永松 純子様	野口 矩子様	清田 保生様	阿野 ヤスエ様	筒井 洋子様	鶴川 華南様	塚本 富美様
山本 英子様	陶山 良子様	古館 竜子様	松下 あつ子様	網田 健美様	久保田美智子様	近藤 浩幸様	前田 真知子様	田中 裕子様
濱 愛 子様	古屋 京子様	甲斐 和江様	柏原 多美子様	西田 節子様	甲斐 安子様	亀井 京子様	佐伯 安子様	秋吉 淳子様
三坂 幹子様	荒木 マツコ様	山内 宜子様	志内 久美様	黒瀬 英夫様	熊谷 陽子様	丹生 則子様	國松 史子様	安部 武子様
山隈 かおり様	金森 美津子様	中川 紀美子様	小林 禮子様	今村 順子様	藤井 英子様	金子 麻祐見様	本田 悦子様	中原 タミ子様
永田 靖子様	高田 晶子様	石田 利香様	林田 ケイ子様	石井 有喜栄様	小城 順子様			
個人・法人・企業等					(順不同)			
株式会社 熊日広告社様	尚 網 学 園 花 桜 会様	株式会社 肥後銀行 味噌天神支店様	尚 網 大 学 短 期 大 学 部 同 窓 会様					
花 桜 会 東 京 支 部 様	尚 網 大 学 同 窓 会 様	株式会社 セイブクリーン様	尚 網 学 園 後 援 会 様					
株式会社 熊本ホテルキャッスル様	株 式 会 社 亀 井 ラ ン チ 様	尚 網 中 学 ・ 高 等 学 校 育 友 会 様						

寄附金 (1)個人 ……………1口5,000円(何口でも結構ですし、設定金額以外でも有難くお受けいたします。)
 (2)法人・団体 ……1口の金額は定めておりません。
 ※なお、それぞれ税の優遇制度を設けておりますのでご利用いただけます。 ※寄附金募集に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。
 尚網学園園事務局 〒862-8678 熊本県熊本市中央区九品寺2丁目6-78 TEL.096-364-0116 FAX.096-363-6520 担当/竹本

【尚網高等学校・尚網中学校】				
特待等の種別	採用の目安等	免除・給付	寄附金事業実績	
専願特待生	市外・県外に保護者が在住する生徒で、学業・特技に特に優れるものの、経済的理由で就学が困難な生徒が免除対象となります。(入寮が条件)	入学金・教育振興費・授業料相当額・施設費・教育充実費・その他校納金	18名	
卒業生家族特待生	母又は祖母が尚網大・短大・高校の卒業生の生徒が免除対象となります。(特待・特技SS・A・B・C・専願生の重複不可)	入学金	1名	
海外留学奨学金	語学研修など海外への短期・長期留学する生徒が給付対象となります。(高等学校のみ)	1回につき100,000円		
【尚網大学・尚網大学短期大学部】				
特待等の種別	採用の目安等	免除・給付	寄附金事業実績	
如蘭学寮 寮費免除	保護者が県外に在住する学生や通学時間に片道1時間以上要する学生であり、学業・特技に優れ、かつ経済的理由等で就学が困難な場合、免除対象となります。	寮費(月額19,000円)・通学定期券代	10名	
姉妹特待生	①本学に入学する4月時点で本学に在学する者の姉妹(2人目以降の学生、②も同様) ②複数人が同一年度に入学する姉妹	入学金の1/2	8名	
海外留学奨学金	語学留学など海外への短期・長期留学する学生が対象となります。(交換留学を含む)	留学期間別に20,000円～100,000円	4名予定	

主な寄附金事業内容

学校法人尚網学園 平成25年度決算の概要と事業報告

1. 決算の概要

学校法人尚網学園の平成25年度決算は、平成26年5月23日開催の理事会において承認・議決され、同日開催の評議員会に報告されました。以下、その内容についてご説明いたします。

(1)資金収支計算書 資金収支計算書は、当該年度の教育研究活動に対応するすべての資金の収入及び支出の内容を明らかにして、支払資金の収入及び支出の顛末を明らかにしています。

資金収支計算書要約 平成25年4月1日から平成26年3月31日まで				(単位 千円)			
資金収入の部	平成25年度	前年度	増 減	資金支出の部	平成25年度	前年度	増 減
学生生徒納付金収入	1,505,107	1,482,639	22,467	人件費支出	1,423,872	1,425,322	△ 1,450
手数料収入	30,500	29,053	1,447	教育研究経費支出	292,660	495,820	△ 203,159
寄付金収入	27,111	14,455	12,655	管理経費支出	114,132	121,189	△ 7,057
補助金収入	574,048	557,494	16,554	借入金等利息支出	3,354	5,177	△ 1,822
資産運用収入	6,543	17,656	△ 11,112	借入金等返済支出	46,100	46,100	0
資産売却収入	0	369,600	△ 369,600	施設関係支出	97,245	1,552,868	△ 1,455,623
事業収入	4,774	3,301	1,472	設備関係支出	60,812	151,262	△ 90,450
雑収入	136,465	126,803	9,662	資産運用支出	72,628	76,609	△ 3,980
前受金収入	505,859	453,091	52,767	その他の支出	266,527	108,900	157,626
その他の収入	127,270	1,310,841	△ 1,183,571	資金支出調整勘定	△ 58,697	△ 259,093	200,395
資金収入調整勘定	△ 585,708	△ 560,320	△ 25,387	支出の部小計	2,318,634	3,724,157	△ 1,405,523
前年度繰越支払資金	863,098	782,639	80,458	次年度繰越支払資金	876,435	863,098	13,337
収入の部合計	3,195,070	4,587,256	△ 1,392,185	支出の部合計	3,195,070	4,587,256	△ 1,392,185

資金収支計算書の収入の部において、学生生徒納付金収入は1,505,107千円となり、前年度比22,467千円増加しました。また、補助金収入として574,048千円を計上しましたが、前年度と比較すると16,554千円増加しています。寄付金収入は27,111千円でしたが、そのうち学園創立125周年を記念して募集した育英奨学寄附金が22,197千円を占めました。

支出の部では、人件費支出が1,423,872千円となり、前年比1,450千円減少しました。教育研究経費は292,660千円と前年度比203,159千円減少していますが、これは前年度に計上されていた再開発事業に関する建物取壊費支出や耐震改修工事等の支出がなくなったことによるものです。施設関係支出は前年度比1,455,623千円、設備関係支出は前年度比90,450千円、それぞれ減少していますが、これは前年度の支出に再開発事業に関する費用が含まれていたためです。以上の結果により、次年度繰越金は876,435千円となり前年度比13,337千円増加いたしました。

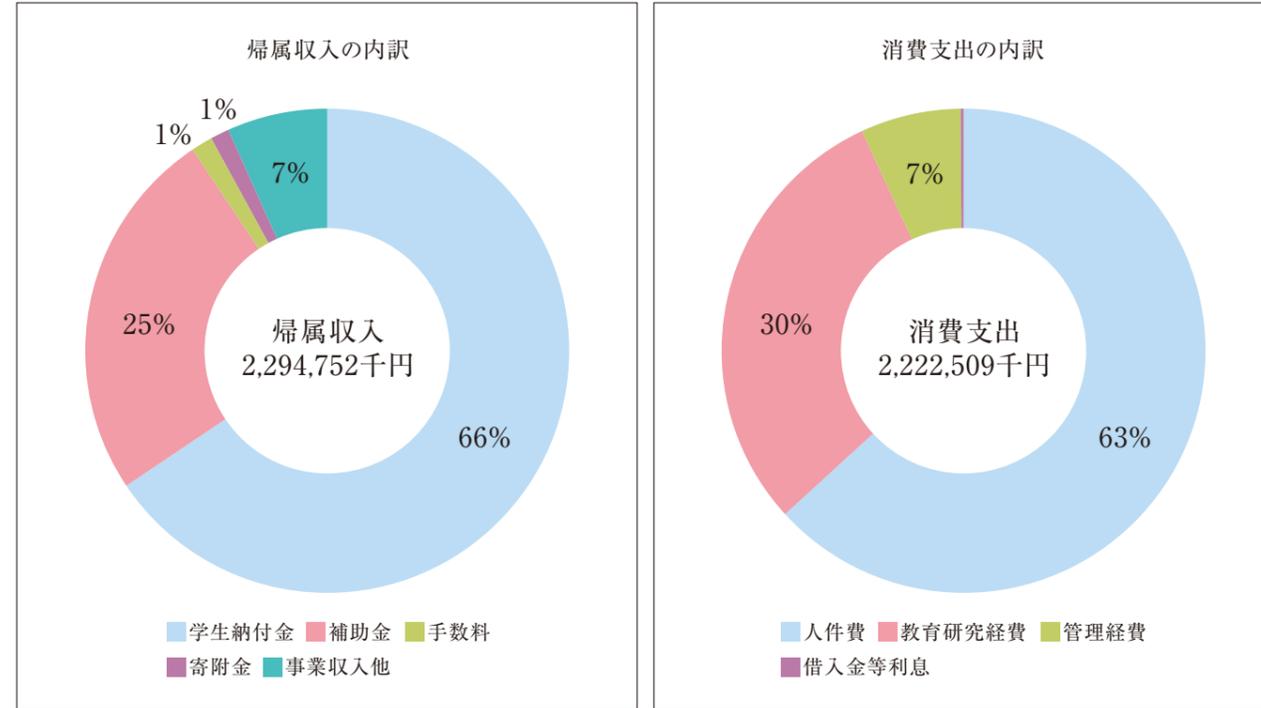
(2)消費収支計算書 消費収支計算書は、当該年度の消費収入と消費支出の内容と収支の均衡を明らかにして、学校法人の経営状況が健全であるかどうかを示しています。企業会計の損益計算書とよく似ています。

消費収支計算書要約 平成25年4月1日から平成26年3月31日まで				(単位 千円)			
消費収入の部	平成25年度	前年度	増 減	消費支出の部	平成25年度	前年度	増 減
学生生徒等納付金	1,505,107	1,482,639	22,467	人件費	1,406,238	1,406,487	△ 248
手数料	30,500	29,053	1,447	うち引当金繰入額	75,001	24,810	50,191
寄付金	31,546	25,970	5,575	教育研究経費	664,124	797,602	△ 133,477
補助金	574,048	557,494	16,554	うち減価償却額	371,038	301,732	69,306
資産運用収入	6,601	17,763	△ 11,162	管理経費	148,618	151,429	△ 2,810
資産売却差額	0	24,646	△ 24,646	うち減価償却額	20,161	18,467	1,693
事業収入	4,774	3,301	1,472	借入金等利息	3,354	5,177	△ 1,822
雑収入	142,173	126,803	15,370	資産処分差額	0	32,510	△ 32,510
			0	徴収不能額	171	124	46
帰属収入合計	2,294,752	2,267,672	27,079	消費支出合計	2,222,509	2,393,331	△ 170,822
基本金組入額合計	△ 404,708	△ 1,456,003	1,051,294	当期消費収支差額	△ 332,465	△ 1,581,661	
			0	前期繰越収支差額	△ 2,840,249	△ 1,258,587	
消費収入合計	1,890,043	811,669	1,078,374	次期繰越収支差額	△ 3,172,466	△ 2,840,249	
				当期帰属収支差額	72,243	△ 125,658	

消費収支計算の収入の部において、学園の正味の収入である帰属収入は2,294,752千円となり、前年度比27,079千円増加いたしました。九品寺キャンパス再開発に関する工事代金の最終支払いや借入金の返済等に係る基本金組入れを404,708千円行った結果、消費収入の部合計は1,890,043千円となりました。

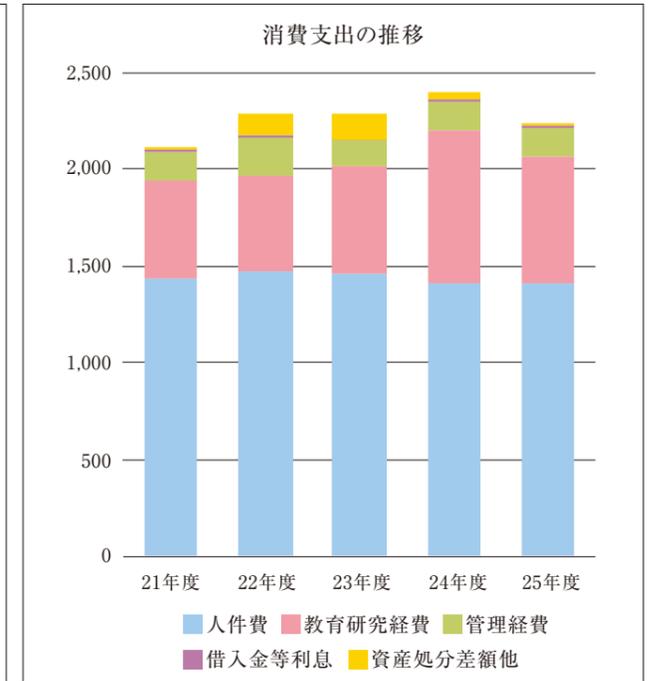
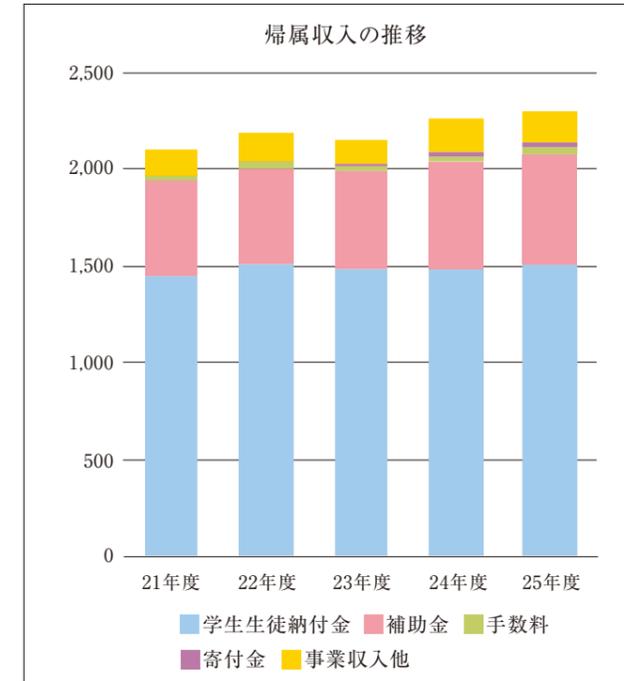
消費支出の部では、教育研究経費及び管理経費に関して、資金収支計算の概要で説明した支出のほかに減価償却額がそれぞれ371,038千円と20,161千円含まれています。

以上の結果により、当年度消費収支差額は332,465千円の支出超過となりました。



消費収支の推移 平成21年度から平成25年度まで (単位 千円)

収入の部	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
学生生徒等納付金	1,450,267	1,505,848	1,490,587	1,482,639	1,505,107
補助金	486,573	499,217	498,335	557,494	574,048
手数料	30,226	31,095	30,910	29,053	30,500
寄付金	3,369	10,041	6,128	25,970	31,546
事業収入他	133,357	139,593	130,394	172,514	153,549
帰属収入合計	2,103,794	2,185,796	2,156,355	2,267,672	2,294,752
基本金組入れ額合計	△ 68,110	△ 532,947	△ 1,669,436	△ 1,456,003	△ 404,708
消費収入の部合計	2,035,683	1,652,848	486,918	811,669	1,890,043
支出の部	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
人件費	1,437,320	1,471,096	1,464,471	1,406,487	1,406,238
教育研究経費	503,135	498,539	550,378	797,602	664,124
管理経費	144,956	193,673	132,908	151,429	148,618
借入金等利息	11,506	11,384	7,172	5,177	3,354
資産処分差額他	1,783	114,456	138,280	32,634	171
消費支出の部合計	2,098,702	2,289,150	2,293,211	2,393,331	2,222,509
当年度消費支出超過額	63,018	636,302	1,806,292	1,581,661	332,465
当年度帰属収支差額	5,091	△ 103,354	△ 136,855	△ 125,658	72,243



貸借対照表 平成26年3月31日

資産の部 (単位 千円)				負債の部 (単位 千円)			
科目	本年度末	前年度末	増減	科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	10,307,118	10,477,991	△ 170,872	固定負債	548,210	618,833	△ 70,623
有形固定資産	9,144,637	9,385,139	△ 240,501	長期借入金	41,640	77,740	△ 36,100
土地	1,023,134	1,023,134	0	退職給与引当金	480,583	503,924	△ 23,341
建物	6,427,249	6,611,817	△ 184,567	長期未払金	25,986	37,169	△ 11,182
構築物	364,366	392,610	△ 28,244	流動負債	645,279	799,158	△ 153,879
教育研究用機器備品	439,760	472,664	△ 32,904	短期借入金	36,100	46,100	△ 10,000
その他の機器備品	38,238	42,605	△ 4,367	未払金	69,880	263,987	△ 194,106
図書	844,993	831,546	13,446	前受金	505,859	453,091	52,767
車両	6,894	10,759	△ 3,864	預り金	33,439	35,979	△ 2,540
その他の固定資産	1,162,480	1,092,851	69,629	負債の部合計	1,193,489	1,417,992	△ 224,502
有価証券	20,000	20,000	0	基本金の部			
退職給与引当特定資産	550,017	550,017	0	科目	本年度末	前年度末	増減
減価償却引当特定資産	100,063	100,063	0	第1号基本金	13,136,135	12,732,031	404,104
施設設備引当特定資産	275,600	225,566	50,033	第3号基本金	174,002	173,647	355
第3号基本金引当資産	174,002	173,647	355	第4号基本金	148,000	148,000	0
奨学寄附金引当特定資産	22,197	0	22,197	基本金の部合計	13,458,138	13,053,679	404,459
その他	20,599	23,557	△ 2,958	消費収支差額の部			
流動資産	1,172,043	1,153,430	18,613	科目	本年度末	前年度末	増減
現金預金	876,435	863,098	13,337	繰越消費支出超過額	3,172,466	2,840,249	332,216
未収入金	132,445	101,095	31,349	消費収支差額の部合計	△ 3,172,466	△ 2,840,249	△ 332,216
有価証券	144,223	144,122	100	科目	本年度末	前年度末	増減
仮払金	18,938	45,113	△ 26,174	負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	11,479,161	11,631,421	△ 152,259
資産の部合計	11,479,161	11,631,421	△ 152,259				

平成25年度末における固定資産(土地・建物・機器備品・特定資産他)と流動資産(現金預金・未収入金他)を合わせた資産の部合計は11,479,161千円で、前年度末と比べて152,259千円減少いたしました。
 一方、長期借入金等の固定負債と短期借入金及び未払金等の流動負債の合計額は1,193,489千円となり、前年度末と比べて224,502千円減少いたしました。

2. 事業報告の概要

平成25年度は、本学園にとって創立125周年という記念すべき年となり、学園一体となって記念式典、記念講演会、記念祝賀会を挙行了しました。その節目の年に、新たな飛躍に向けた「長期ビジョン(将来像)と中長期行動計画」を策定し、スタート初年度として、財務面では、教育研究に関わる分野以外での支出について費用対効果を再検証し見直しを進めた結果、支出抑制による収支改善を図ることができました。一方、人事制度面では、評価者訓練等の実施による人事考課の適正運用を行ったほか、新たに自己申告制度を導入するなど、内容の充実に取り組みました。

さらに、昨年度設置した常勤理事会及び事務部門会議を有効に機能させることにより業務運営の推進体制を整え、法人と各学校間の連携や事務効率化を推進するなど、学園ガバナンスの強化を行いました。加えて、初の試みとしてホームカミングデイを開催するなど卒業生を含めた地域との連携強化に努めました。

学校法人尚絅学園 平成26年度事業計画の骨子

1. はじめに

平成26年度は長期ビジョンと中長期行動計画の2年目を迎えることから、女子総合学園としての利点を生かす体制づくりを進め、建学の精神を基本に「特色ある教育の質の向上」と「地域連携の強化」に取り組んでまいります。

2. 主な施策

(1) 学園全体・学校法人

九品寺再開発による支出負担が無くなる今年度は、安定的財務基盤の確立のために経費節減など財務体質の強化をさらに進めていく一方で、人事制度改革面では、人事評価制度の定着と適正運用のために一層の内容充実に努めてまいります。

学生・生徒の確保にあたって、学園広報の一元化を図り、実施内容を見直し新しい取り組みにも着手しましたが、今年度はさらに広報戦略の明確化と広報予算の有効活用を図ってまいります。また、学園の組織運営の機能強化を推進するために、常勤理事会での意思決定の明確化や迅速化、事務部門会議での実施施策の検討及び周知等について引き続き実行していくことといたします。

その他、図書館の一般開放や学園諸施設の貸出の他、今後も地域の要請を的確に把握し、ニーズに応える施策を検討してまいります。

(2) 尚絅大学・尚絅大学短期大学部

教育内容面では、昨年度大幅に改組した文化言語学部と短期大学部総合生活学科について、今年度はその成果を検証するとともに、グローバル化に対応した海外交流や特色のあるカリキュラムの編成、サークル活動の充実など、一層の教育内容の改革に努めてまいります。

また、昨年度から本格的に始動した高大連携の充実、今まで手薄であった県外学生の確保、同窓会や後援会との連携強化、新たに開始した奨学制度の活用を図りつつ、学修意欲あふれた学生確保に努めてまいります。

さらに、研究面では、尚絅大学・短期大学部の利点を活かした各種センターの設置や運営の充実を図るとともに、地域社会との連携を推進していく仕組みづくりに取り組んでまいります。また、地域での保育所開設の要請もあることから、今後の幼児教育の教育機関としての在り方も含め、設置の可否について検討していくこととします。

(3) 尚絅中学・高等学校

平成25年度は、国際交流・学力向上・高大連携事業・礼法教育・環境美化推進等に一層取り組むと共に、新たに「ことば教育」「学校評価制度」を導入し、教育内容の充実を図り「尚絅らしさ」のさらなる追及を推進いたします。

生徒確保については、広報活動の企画・戦略及び指導助言の役割を持つ広報活動プロジェクト委員会を設置して広報活動を展開することといたします。

尚絅大学 尚絅大学短期大学部

尚絅祭 11|22^土・11|23^日 10:00~

・クラスバザー ・研究発表 ・カラオケコンテスト ・ファッションショー ・ミスコンテスト ・ゲストライブなど

11|23^日 進学相談会
同時開催

榎木キャンパス (文化言語学部)(幼児教育学科)



九品寺キャンパス (生活科学部)(総合生活学科/食物栄養学科)



尚絅大学・尚絅大学短期大学部卒業生のみなさん、
久しぶりに母校を訪れてみませんか?

第2回ホームカミングデイ

11|23^日 10:00~15:00 (受付9:00~
榎木・九品寺キャンパス正門)

内容 ・講演会 ・交流会 ・お茶席
・同窓会カフェ ・展示など

尚絅祭と同時開催



尚絅中学校 尚絅高等学校

体育祭 9|20^土 8:30~

場所: 水前寺競技場



文化祭

10|18^土
10:00~



卒業生に限らず、友人・家族も誘って年に一度は母校へ帰りましょう!

ホームカミングデイ同時開催

内容 ・バザー ・お茶席 ・作品展示 ・グッズ販売 ・同窓会など

尚絅コンサート

入場
無料

10|19^日 開場 13:00 / 開演 13:30

場所: 熊本県立劇場コンサートホール

生徒・保護者・同窓生によるコンサートです。



尚絅中学校 入試説明会 2014年 10|25^土・11|8^土・11|29^土・2|14^土

尚絅高等学校 入試説明会 2014年 10|25^土・11|29^土